

# 語る映画

## — 奈々福・太福 浪曲二人会 —

### RŌKYOKU



たのびる

浪曲は三味線を伴奏に浪曲師が物語る語り芸。説経節、でろれん祭文、阿呆陀羅經などをもとにする。明治初期より「浪花節」と呼ばれ、戦前まで庶民の娯楽として全盛を迎えた。

いま、伝統芸能としてつづいていた浪曲の語り注目があつまっている。今回は、玉川奈々福、玉川太福のお二人が映画に想を得た創作浪曲を披露。浪曲師の語りでみなさまの脳内スクリーンにたっぷり光を投影！上演後にはお二人のトークつき。

<演目>

『男はつらいよ 寅次郎相合い傘』(第15作)

(山田洋次監督・松竹作品 原作)

浪曲師：玉川太福 曲師：玉川鈴

『浪曲・平成狸合戦ぽんぽこ』

(高畑勲監督・スタジオジブリ作品 原作)

浪曲師：玉川奈々福 曲師：広沢美舟

玉川奈々福・玉川太福トーク

2024年  
2月17日(土)  
19:00開演  
(18:30開場)

【会場】

川崎市アートセンター  
小劇場

【発売日】

2024年1月19日(金)

【料金】(全席指定・税込)

一般2,700円

小・中学生1,500円 / 25歳以下2,000円(要証明・窓口販売のみ)

障がい者割引(付添1名まで)2,000円(要障がい者手帳・電話と窓口販売のみ)

アルテリオ・シネマ会員2,500円(要会員証・ポイントなし・窓口販売のみ)

推奨：小学生以上

【取扱い】

しんゆりチケットセンター(川崎市アートセンター内)

web <https://kawasaki-ac.jp/th>

tel 044-959-2255(9:00-19:30、土日祝・毎月の施設点検日除く)

窓口 9:00~19:30(毎月の施設点検日除く)

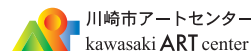
※発熱や咳など体調に不安のある方はご来場をお控えください。また手指消毒、咳エチケット等にご配慮ください。

主催・お問合せ：川崎市アートセンター 044-955-0107

後援：NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)

独立行政法人日本芸術文化振興会 | 神奈川県マグカル展開促進補助金



# 語る映画

## — 奈々福・太福 浪曲二人会 —

2024年  
2月17日(土)  
19:00開演  
(18:30開場)

浪曲師  
たまがわ だいふく  
**玉川太福**

1979年生まれ。新潟県新潟市出身。  
所属：一般社団法人日本浪曲協会、公益社団法人落語芸術協会  
2007年3月、二代目玉川福太郎に入門し、同年11月浅草木馬亭にて初舞台。  
2013年10月、木馬亭にて名披露目興行。  
2015年「第1回渋谷らくご創作大賞」  
2017年「第72回文化庁芸術祭・大衆芸能部門新人賞」、2020年「第37回浅草芸能大賞・新人賞」、2022年「令和3年度花形演芸大賞・銀賞」、2023年「彩の国落語大賞・特別賞」受賞。2016年より「にいがた観光特使」



浪曲師  
たまがわ ななふく  
**玉川奈々福**

神奈川県横浜市出身。1995年、曲師(三味線弾き)として二代目玉川福太郎に入門。師匠の勧めにより浪曲も覚え、2001年浪曲初舞台。2006年、美穂子改め玉川奈々福として名披露目。さまざまな浪曲イベントをプロデュースする他、自作の新作浪曲も手掛け、他ジャンルの芸能・音楽との交流も多岐にわたって行う。平成30年度文化庁文化交流使として、イタリア、スロベニア、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、キルギス、ウズベキスタンの七か国で公演を行ったほか、中国、韓国、アメリカでも公演。第十一回伊丹十三賞受賞。著書に「浪花節で生きてみる！」(さくら舎)、編著に「語り芸パースペクティブ」(晶文社)がある。



曲師  
たまがわ りん  
**玉川鈴**

長野県出身。多摩美術大学卒業。大学在学中に浪曲と出会う。浪曲の即興性が、大学で学んできた舞踊や演劇とつながっていると感じ、そこから曲師に惹かれ志す。2018年に日本浪曲協会の三味線教室に通い始め、2020年3月に師匠玉川みね子に入門。



曲師  
ひろさわ みふね  
**広沢美舟**

千葉県佐倉市出身。義太夫から三味線に興味を持ち、偶然入った木馬亭にて師の音締の虜となり、通ううち浪花節のおもしろさに魅せられる。2015年5月に日本浪曲協会主催の三味線教室に通い、翌月沢村豊子に入門。浪曲師を腹で支え、描きたい世界をともに描ける、活かす曲師になるべく奮闘努力中。2022年10月、沢村美舟から広沢美舟に改名。



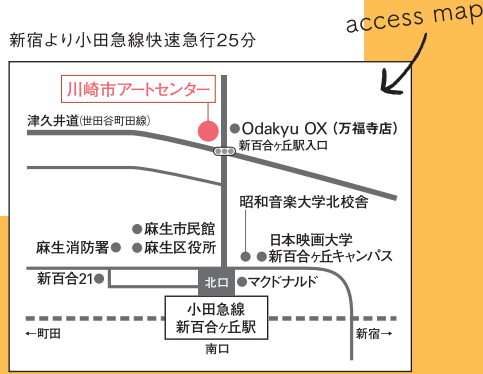
### 原作映画について(映画の上映はございません)

#### 『男はつらいよ 寅次郎相合い傘』(第15作)

1975年 | 監督: 山田洋次  
寅次郎(渥美清)は青森で兵頭(船越英二)と知り合い、旅を続けている。函館の屋台でリリー(浅丘ルリ子)と再会し、北海道で気ままな時を3人で過ごす。寅とリリーはけんか別れしてしまう。ある日リリーはふらりと柴又に現れ寅次郎を安心させるが、二人は喧嘩を繰り返すばかり。それを見た妹さくら(倍賞千恵子)は兄とリリーの結婚を望むのだが、兵頭がお礼に持ってきた高級マスクメロンの切り分けで起こるメロン騒動の語りが見どころ。

#### 『平成狸合戦ぽんぽこ』

1994年 | 監督: 高畑 勲  
新百合ヶ丘からほど近い多摩ニュータウン開発を舞台にしたアニメーション。人間が住宅地建設のために工事を始め、狸の住処が危くなる。狸は先祖伝来の化け学を再興、それを武器に人間たちに戦いを挑む。声の出演も古今亭志ん朝(語り)、主人公の正吉を野々村真(正吉)、石田ゆり子(おきよ)など豪華。  
新作毎に新たなアニメーションの領域を切り開いたジブリの高畑監督の日本文化への造詣とユーモアが散りばめられた「総天然色漫画映画」。



<主催・会場・お問合せ>

川崎市アートセンター 小劇場 (小田急線「新百合ヶ丘駅」北口徒歩3分)

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺6-7-1 tel 044-955-0107 <https://kawasaki-ac.jp/>

<駐車場サービスのご案内> 本公演をご鑑賞されるお客様に、Odakyu OX万福寺店駐車場のサービス券(90分)を200円にて発行しております。